

# 1 月定例記者会見 会見録

平成 31 年 1 月 10 日（木） 11:00～11:47 庁議室

## 市長報告

1 月定例記者会見に当たり、冒頭私から報告をさせていただきます。

はじめに、第 46 回筑波山梅まつりに係る安倍内閣総理大臣表敬訪問についてです。2 月 16 日から 3 月 21 日まで、筑波山梅まつりを開催します。梅まつりのさらなる認知度向上と観光誘客を目的として、つくば市議会の神谷議長、つくば観光大使などとともに、安倍内閣総理大臣への表敬訪問を行います。総理訪問は初めてのことで、今月 17 日に訪問を予定しています。ぜひお越しくください。

次に、平成 31 年「つくば市成人の集い」の開催についてです。次世代のつくば市を担う新成人の門出を祝い、今月 13 日につくばカピオにて、つくば市成人の集いを開催します。成人の集いについては、一昨年、一部の新成人の妨害行為により、式典が一時中断し逮捕者が出るなどの騒動があったことなどから、昨年からは式典の内容や受付方法を見直しました。さらに警備体制の強化などを図ってきたところではありますが、今回は、新成人の安全を確保するため、路上での送迎車両からの乗降を規制し、送迎用駐車場を用意するとともに、一部区間を通行止めになります。また、警察や警備員のほか、つくば市消防団、青少年相談員等

の地域団体などの皆様約 200 名の方々が協力していただく予定です。

次は「周辺市街地まちづくり合同勉強会」の開催についてです。つくば市合併前から生活の拠点として発展してきた周辺市街地において活性化に向けた取組を進め、昨年度から勉強会を開催しているところですが、このたび、今年度2回目となる周辺8市街地合同の勉強会を、今月26日に市役所で行います。講演として、コミュニティデザイナーのにしがみ西上ありさ氏、ワークショップコメンテーターとして筑波大学の名誉教授蓮見はすみたかし孝氏に参加していただきます。これも各地区で議論が盛り上がっているところですので、多くの皆さんにご参加いただきたいです。

次は、3件のパブリックコメントの実施についてです。

まず、「つくば市文化芸術振興基本条例の一部を改正する条例」(案)のパブリックコメントの実施についてです。平成16年に制定した「つくば市文化芸術振興基本条例」により、文化芸術の振興に関する施策の総合的な推進を図っているところですが、国の動向や市をとりまく状況が変化していることを踏まえ、このたび「つくば市文化芸術基本条例」として一部改正するもので、パブリックコメントを今月15日まで実施します。

2つ目は、やはり芸術関連ですけれども、「つくば市文化芸術推進基本計画」(案)のパブリックコメントの実施についてです。平成25年の見直し後5年が

経過した「つくば市文化芸術の振興に関する基本的な方針」を改めて評価し、より総合的かつ計画的に文化芸術施策の基本的な方向や施策を定めた計画を策定するもので、これもパブリックコメントを今月 15 日まで実施します。

最後に、「つくば市子ども未来プラン」(案) のパブリックコメントの実施についてです。つくば市では、就学援助や生活保護の対象となっている児童生徒は、現段階で 1,219 人に上ります。SDGs 未来都市つくばの「誰ひとり取り残さない」という包摂の精神のもと、様々な施策を進めるため、「つくば市子ども未来プラン」を策定します。パブリックコメント期間は 2 月 4 日までとしております。

冒頭私からの報告は以上です。

## 質疑応答

### ■今年の展望・抱負について

#### 記者

今年、つくば市で G20 の会合ですとか県内的には国体とか、大きなイベントもあるかと思うんですけども、そうしたところも含めて今年の展望と市政に対する抱負を教えてください。

## 市長

今年私が意識をしていることは、今お話ありましたように、大きなイベントが非常にたくさんあります。世界的にも、G20などは会合の中でも間違いなく一番注目をされるものですので、そういった事業につきましては、やはり確実に成功させるということ、そしてその中で常に意識するのは、ただ何かイベントをやっ  
て終わりではなくて、そこに市民が参加をしているということ、そしてそれが今後の遺産として、レガシーとして残っていくというようなことを考えております。

これはG20においてもそうですし、国体・ゆめ大会においてもやはり同じことだと思っていますので、そのような大きな事業、そして全国的に注目をされるような取組というのは、今年も様々に仕掛けていきたいです。

一方で、ただ世界的な注目をされているとか国内からも様々今注目をいただいていますけれども、そういうことばかりになって足元がふらつくようなことは決していけないと思っています。むしろ今年度は今まで以上に地域の皆様との対話を深めていって、普段新聞記事に出たり、テレビに出たりするような部分でなくとも、皆さんの生活面の課題というのを一つ一つ改善をしていけるような一年にしたいと思っています。

その一つの象徴的な部分がこの周辺市街地の勉強会で取り組んでいるところで

すが、やはり華やかな筑波研究学園都市の部分のスポットライトが今までは当たってこなかったです。周辺市街地に住む皆さん、周辺地区に住む皆さんが自分たちでアイデアを出し合ってまちづくりを行っていくという取組を今進めていますけれども、そういうことをすること中心市街地にはないすばらしい魅力が、やっぱり自分たちの街にあるんだなということを再認識していただくようなことにもなるかと思っております。

そういった意味で、全国的な、あるいは世界的な注目をする事業は今年も進めながら、一步一步確かに、市民が変化を実感できるような一年にしたいと思っております。私個人としては本厄ですので、そういったことも含めて丁寧に行いたいと思っております。

## ■安倍総理への表敬訪問について

### 記者

冒頭にありました、梅まつりの安倍総理への表敬訪問なんですけれども、表敬訪問は初めてということで、今回訪問しようというところに至った経緯があるのかどうか。

### 市長

梅まつりの実行委員会というのを毎年開催して、それで進めているわけなんですけれども、その中で委員さんから毎年、これまでもご提案があったようなんですけれども、今回、観光コンベンション協会の副会長でもある神谷市議会議長の御尽力により訪問が実現しました。

## 記者

私は昨年の春以降に来たばかりで、まだ梅まつりというのを見たことがないんですけれども、今年ならではのセールスポイントがあれば教えてください。

## 市長

セールスポイントはたくさんあります。この資料にも入れましたが、梅まつりは、筑波山の中腹のところに約 1,000 本の紅白の梅が植えられています。非常に華やかで、「展望あずまや」から見たりすると富士山と東京のビルなどが一望できるのと梅と一緒に見られるような、本当に素晴らしい景観を含めた梅まつりとして非常に人気があります。

会場内では様々なグルメを展開して、いろりを出して、そこでお餅を焼いて食べたり、あるいは筑波山の様々な食、梅を使った食事コーナーがあったり、あるいは地酒フェスというのを一緒にやっています筑波山の周辺のお酒をた

くさん出していたり、ただ見るだけではなくて、来てゆっくり過ごしていただいで一日楽しめるような、そういう企画になっています。

温泉もありますので、お風呂も含めて筑波山全体を満喫していただけるような梅まつりですので、ぜひ今年はいらしていただければと思います。

### **記者**

筑波山梅まつりに関してなんですけれども、今回表敬訪問されて、総理がいらっしゃるとかは、特に予定とかはありますか。

### **市長**

筑波山梅まつりにですよね。それはお願いをしてみることになると思いますが、なかなか容易ではない気はします。

### **記者**

どなたか要人とかゲストがいらっしゃるのであれば知りたいなと思って。特に今は予定とかは。

### **市長**

今のところは未定です。

## ■成人の集いについて

### 記者

成人の集いですけれども、一昨年荒れたということもあって、基本的には警備体制は去年並みということで、送迎用駐車場を用意するとか、それ以外あれば教えていただければと思います。

### 市長

去年もかなりきちっとしたんですが、今回はそこに加えて交通規制をかける形にしましたので、より安全に式典が運営できると思います。ほかに追加で、去年より細かい部分で強化している部分もあれば担当からお願いします。

### 生涯学習推進課長

市長がおっしゃった通り、通行止めということで、歩行者の安全、また周辺住民の安全も確保しております。それ以外に付け加えてということはありません。

## ■周辺市街地まちづくり勉強会について



## 記者

周辺市街地の話ですけれども、これは基本的に市民の方から意見を出してもらうワークショップというようなイメージでよろしいでしょうか。

## 市長

はい。講演もやって、いろいろコミュニティデザインについて学んだ後にワークショップで、市街地ごとに集まって自分たちの街について、またいろいろ学びを深めていきます。そこで一回目ですと、そこによその市街地でどんな議論をしたんだろうというような共有を、のぞきに行ったりとかして、自分たちの地区だけで物事を見るのではなくて、各地区お互いにアイデアを出し合ったり、気づきを得ながら進めていくという、本当に今まで全く行われてこなかったアプローチだと思っています。

## 記者

例えば、今課題となっている廃校活用とか、ある程度市からプランは説明するとか、そういう場面はありますか。

## 市長

そういう場所ではないですね。当然各地区の勉強会の段階で、今の廃校とかの状況の共有は部分的にしている部分もありますが、この場所ではある程度そういうものは共有されている前提の中で、どうしていくかという議論をしていくという場所です。

小田地区と谷田部地区が先行して進んでいるんですけども、例えば小田地区で言いますと、実際に周辺市街地の勉強会で様々な御意見が出たものをどう活かしていくかということで、廃校の小田小学校をどう利用するかというのは結構小田地区の中では大きなテーマになっています。

## **記者**

基本的には、参加する住民の皆さんはその辺り、市としてどのように考えているかというのは、分かっている前提でのワークショップということですか。

## **市長**

そうです。全ての方が同じ理解度かということそれはまた別ですけども、基本的には市街地の勉強会の中で、すでに様々な情報は共有されていると思います。

## **記者**

このワークショップ自体は、今後どのように市として活かしていく位置づけになるのでしょうか。

## 市長

ここで皆さんに8地区出していただきます。それぞれ、こういうことをやったらいいなんていうアイデアは、既に出ているものもあります。谷田部地区などでは、既に街歩きツアーなどをやって大変好評だったんですけれども、その皆さんの出たアイデアに対して市としてどういうサポートをしていくか、予算面も含めて、皆さんから出てきたものに対しての予算付けというのを、今考えているところです。

## 記者

実現可能性のあるものがあれば、それは施策として採用して、当初予算以降出していくということも考えていますか。

## 市長

そうですね。何千万とか何億かけて何かという話ではなくて、もう少しソフト面とか、イベント等とかで仕掛けていくことができるだろうなということを今中

心に議論をしてもらっていますので、そういう部分についてはきちんと予算を付けていきたいと思っています。

## ■総合運動公園用地について

### 記者

地域活用の話で行くと、発表事項とは少しずれますけれども、去年はクレオが結構問題になって結局民間にということになりましたけれども、もう一つ、総合運動公園用地のことがまだ大きな課題として残っていると思います。今年どうしていくのかというところ現在の考えをお伺いしたいと思います。

### 市長

今年度予算で今調査をしまして、この報告が3月には出る予定です。この中でおよその大きな方向性というものを出していけるんじゃないかと思っていますので、そこで方向性が出れば来年度は具体的にそれを実現するためにどうすることが必要なんだろうという、中身の話に入っていくのかなと思っています。

### 記者

3月の調査っていうのは、今どういう状況ですか。復習をさせてもらえれば。

## 市長

今どこまで話せるのかを含めて、担当から。

## 都市計画部長

業務委託発注で、土地利用のあり方であったりインフラの状況であったり、その辺の基礎的な部分をもう少し確実に見極めようということで基本的な調査を今行っていて、それを基に実際どのような土地の活用の仕方が考えられるのかというのを、いくつかのパターンでお示ししたいということで今作業は進めています。それは市長が言ったように、3月くらいに取りまとめを行いたいということとです。

## 記者

それは数パターンを示す予定だという理解でいいでしょうか。

## 都市計画部長

数パターンのあり方を示すということで考えています。

## 記者

その数パターンというのは、以前話に挙がっていた、分譲であるとか一括して売却するであるとか市として使うであるとか、そんなパターンということでしょうか。

## 都市計画部長

サウンディング調査を行ってきたので、そういうことから考えられる想定も含めて、今整理をしているというところです。

## 記者

具体的な選択肢としては、私が申し上げたようなイメージでよろしいでしょうか。

## 都市計画部長

まだそこまで、この場ではお答えしづらいところなんですけど、イメージとしてはサウンディング調査で、例えば全体をどのように一括で使える状況があるのか、あるいは分譲で事業用地とできないか、そういうことがサウンディングで挙が

ってきていましたので、そのようなものを基本的なベースに考えていくという  
ところですよ。

## 記者

3月末を目途に調査の結果を公表するという事で、スケジュールとしてはよ  
ろしいでしょうか。

## 市長

そうですね。公表できるんですよ。

## 都市計画部長

調査は3月末までには進めています、できるだけ市長の方からも早い段階で  
と指示は受けていますので、可能な限り前倒しができればとは思っております。

## 記者

まとまったときの公表の仕方についてはどのように考えていらっしゃいますか。  
記者発表とか。

## 市長

タイミングがどこかによりますけれども、当然記者会見などではきちんとお話しは、挙がってくるものにもよりますけれども。

## 記者

議会中に答弁とかで発表する予定はありますか。

## 市長

今、いつどういう風に発表するかというのは分かりませんが、当然、これは市議会全員協議会では先にお示しをするものかなと思っております。

## 記者

当初予算とか3月議会も近いんで、それと被ってくるのかどうかというのがかなり気になっているところではありまして、その辺りのタイミングを今探りたいんですけど、どうでしょうか。

## 市長

予算については、内示会が2月の上旬にありますので、そのタイミングと同じと



というのは無理だと思います。

## 記者

議案として出てくる可能性はありますか。調査費以外のものでも。

## 市長

その次のステップのことは当然考えなくちゃいけないと思いますので、今回でもシラフな絵が出れば、それを実現するための具体的な絵の描き方のようなことの予算というのは当然つけなくては進んでいかないことになりますので、入ってくると思います。

## 記者

3月の調査以降についてはどのようなスケジュールで考えていらっしゃいますか。

調査結果の発表以降については。

## 市長

これも調査結果を少し待たないと、今インフラ等の調査も含めてやっているのです、どの程度の設備投資が必要なのかとかですね、残念ながらというか、現況

でそのまま使っていただける方がいれば当然それが一番いい話なんですけれども、そういう方の買い手というのは今のところいない状況ですし、であれば何らかの整備はしなくてはいけなくなるのかなというような部分はあると思っています。それ次第だと。今、その後のスケジュール感はちょっと出し切れないところがあります。

## 記者

実際に不法投棄とかもあったので、整理は必要なのかなと思っていますけれど。

## 市長

問合せなどはあるんですけど、今の段階では事業者の皆さんはなかなかこのままでは買えませんという人たちがほとんどなので、値段的にもかなり厳しいことをおっしゃっているような印象もあります。当然、非常に高い金額で買うことになってしまった土地ですので、それをどうするかというのは考えていかなくてはいけないと思います。

## 記者

今の段階でいつまでに決着をつけるというのは難しいかもしれませんが、

どのようにお考えですか。

## 市長

3月に調査報告が出ればそれに基づいて線は引けると思っていますので、その時には、およそこれぐらいまでには片を付けるということを含めてお話しができるという風に思います。

## ■こども未来プランについて

### 記者

こども未来プランについて、具体的に31年度から実施する5カ年の予定を盛り込んでいますけれども、既に実施しているようなこともあると思うんですけども、例えば、新年度予算ですとか、その他に新しい技法がありましたらお願いします。

### 市長

新年度予算については、まだ発表ができませんので、御了承願いたいと思いますが、学習の拠点などは当然増やしていきたいと思っていますし、今おかげさまで、いろんな地域の皆さんがやるよとおっしゃっていただいていますので、それぞ

れの皆さんに対して私どもも予算的なサポートはしていきたいと思っております。

## **記者**

学習塾代の支援というのがあるのですけれども、自治体が学習塾代まで支援すると言うのは聞いたことがないのですが、例えば珍しいとか言うのはあるのでしょうか。

## **市長**

珍しいと言うのはわかりますか。担当からも前例があれば。

## **こども未来室長**

現在大阪市ではやっております。

## **記者**

数値目標みたいな具体的な目標達成を、自己肯定感を持つ児童生徒の割合などいろいろ設定しているのですが、関係している項目以外は、自己肯定感を持つ児童生徒の割合はあまり貧困と貧困家庭に限った話ではないような気がするのでは

すけども。あと、2番目の将来の夢や目標設定を持つ児童生徒の割合の増加とか、この辺の目標というのはどのように設定されているのですか。

## 市長

この辺の議論の過程は担当で説明してもらっていいですか。

## こども未来室長

こちらを作成するにあたり、懇話会を4回実施しまして、その中から委員さん達からの意見を参考に目標設定をしております。

## 記者

例えば今回頻繁に出てくる貧困家庭の子どもでは特に低いので、その辺の数値を上げたいというのがあるんですか。

## こども未来室長

平成29年度に市子どもの貧困に関する実態調査を行ったところ、やはりその中でそういった傾向が見られるということでございます。

## ■市長の姿勢について

### 記者

先ほど市長挨拶の中で、今年はやはり足元から固めていくと言うお話があって、新聞に取り上げられることに取り組んでいくと言う話がありましたけれども、それはその去年はいろいろ全国紙が取り上げるようなことが結構あったのですけれども、今年は足元を固めるというのは心境の変化とかあるいは、ご自分の中で省みてこうした方がいいと思ったのかあったのかどうかその辺をお伺いしたいのですが。

### 市長

心境の変化と言うわけでは無いのですが、例えば朝日新聞さんの全国紙の1月1面にかなり大きく書いていただいたりして、やはり反響もあります。すごくそれはありがたいことですし、外からのつくばの評価というのは今非常に高まっています。これは感覚値ですけれども思っております。都内から例えば衆議院の勉強会に呼ばれたりですとか、総務省の政務官からつくばの事例を発表してくれという依頼が今非常に増えていたりしますし、メディアあるいは東京の様々な経営層からも、つくばと組みたいという話がすごく増えています。

そういう風に評価はされているのですけれども、一方で地元の市民の感覚とし

て、どの程度その変化の実感っていうのがあるのか、自分たちの生活に対する部分を感じられているかという、まだギャップがあるのかなと思います。

それは決してやってないわけではなくて、私が就任して 2 年ちょうどの折り返しですけれども、今まで数多くの放置されてきた課題に取り組みを始めています。そういった課題がまだまだたくさんありますので、それを少し目に見える形で取り組んでいく必要もある、何か外で評価を高めていくことばかりをやっているように地元の皆さんが誤解をするといけないこともありますし、中心市街地ばかりではない、ことを含めてクレオの時に非常に感じたことで、我々が日頃取り組んでいることをいろんな変化が起きているんですが、それが何かはまだまだ伝わっていないなと日々感じていましたので、今年はよりそういう部分をきちんと証明して変化を起こしていくのは当然ですけれども、それをまたわかりやすく伝えて行くということも含めて、合わせて皆さんが実感できるようなことをやっていきたいと思っています。

## ■総合運動公園用地について

### 記者

総合運動公園用地なんですけれども、せっかく今年 3 月には報告書がまとまるという事なんです、これは私の印象なんですけれども、廃校の校舎の活用もいろいろ

ろ調査をされたり、その中でも総合運動公園問題は掲げられると思うのですが、見ていると廃校舎の活用の話と、総合運動公園用地の活用というのは、ほとんど並列的に取られているのではないかと思っているんですが、もちろん廃校舎の活用も重要なんですけれども、住民投票で全国紙にも取り上げられ注目された話でその跡地というのはどうなるか関心があって、年間 3,500 万円くらい利子を払わされているような現状もあって、こちらを急いだ方がいいのかなと思うのですが、この辺の位置づけをどう捉えていらっしゃるのか。これは任期中にどういう風に利用するのかというのは決める考えなのか。

## 市長

非常に重要な問題ですので、当然高い優先順位を持って取り組んでいます。とにかく急いで進めると言い続けておりますし、乱暴な調査をしても仕方ありませんので、手順を踏んで確実に進めている所です。

おおよその方向性というのはようやく 3 月に出せるということです。当然私の任期中に何か全てが終わるというところには、もし工事とかも入ってくると無理ですけれども、どういう方向性になるのか、その場所がどういう場所になるのかと示すのが 1 つの区切りになっています。そこを期待通り進めていきたいと思っておりますし、来年度もより加速して進めていきたいと思っております。どうしても大規



模な土地だったりすると、都市計画変更等も含めて様々にからみますので、あらゆる事業がそうですけれども、こういった事業も、一定の時間がかかってしまうというのはお含みおきをいただきたいと思います。

## ■医療ケア費用助成について

### 記者

先日、医療的ケア児の保護者の皆さんから台風などの被害を受けて、発電機の購入について助成をしてほしいという請願が可決されましたが、それについて市長としてどのように考えていらっしゃいますか。医療的ケア児、今増えています、注目も高まっているところでして、そのあたりの医療的ケア児の助成だけではなくて支援についてつくば市としてどのように考えているか教えてください。

### 市長

当然、請願の趣旨というのは、非常に私も強く感じるところでし、一昨年所信表明で雛姫ちゃんという女の子の話をしたのですが、24時間介助の状態の女の子でしたので、そういった環境にある子どもたちはどうケアしていくのかというのは重要な部分ですので、全国的にもあまり事例はないですけども、今度請願を出された皆さんと面会を予定していますが、私としてはできる限りの支援

をしたいと今考えているところです。

なかなか、今までケアが浴びるほどという事でもなかったのではないかなと思うのですが、少し国の方でも変化が最近あるのかなと思っていますし、私としても本当に大変な境遇にある子どもたちや家族をどうサポートしていくのか、命を守っていくのかという部分は行政の大きな責任だと思っていますので、具体的にどういう形の支援がいいかというのを考えています。

## **記者**

ちなみに面会はいつされる予定ですか。

## **市長**

面会は2月に入ってから、2月上旬です。

## **■つくばウェルネスパークの指定管理者について**

## **記者**

ウェルネスパークの管理の議案が12月議会で否決されたのですが、これを放置しておくとも4月以降住民が利用できないということになってしまうのですが、この対応はどうされますでしょうか。

## 市長

今かなり、打ち合わせをしています。どういう形であればいいのか、皆さんが問題提示されたことに対して答えられるかということに整理をして、当然どこかで早いうちに臨時議会を開いていただいて、再度ご審議をいただくことになっていると思っております。

## 記者

これは当然、年度内にということですよね。

## 市長

当然年度内になどと言っていると間に合いませんので、できるだけ早急に議会を開く必要があると思います。

## 記者

今月中ですか。

## 市長

今月中くらいにしないとなかなか日程的には厳しいと思っております。

## 記者

反対討論をされている議員の話を聞いていると、市長は地場産業振興だと言っていると言うので、一方指定管理は市の公募の委員が決められたことだと思うのですが、市長が決められた委員とギャップがありまして、地場産業の育成というのが反対の理由ととりあえずなっているのですが、それは市長がどのように受け止められていますか。このギャップについてはどのようにお考えですか。

## 市長

これはもう決めるのは議会ですので、もちろん専門家が様々なことをして出した公平に審査をした結果が今回の 1 番目の事業者でしたけれども、これについて良いとか悪いとかという話ではなく、このプロセス部分に対して議会から問題提起があったという事は私の方としては重く受け止めて、ではどういう改善策があるかということを考えているというところです。専門家の議論が否定されたというふうには思っておりません。

## 記者

具体的には、例えば決まった候補者にいったん出したけれども否決されてしまったので、次点の候補者に選定をお願いするということになるのでしょうか。

**市長**

そういう事はないと思います。

**記者**

そうすると、一旦その選んだ業者で提案して否決されたものを、再提案をするということなんでしょうか。

**市長**

当然、今回プロセスが問題視をされましたので、そこについてはもう一度行わなければ議会の問題提示に対して応えたことにはならないと思っております。

**記者**

そうするとまた委員会も召集して、再び選考し直すということでしょうか。

**市長**

そうなると思います。

**記者**

それは今回3者が入札されていたと思うのですが、それを3者で行うのか、ゼロベースでもう一回公募してやるのかどうなのでしょうか。

**市長**

当然やるのであればゼロベースだと思います。

**記者**

ゼロベースでもう一回公募かけて、委員のみなさんに話し合っていて、それを加味して候補となる業者を選んでいただき、そして、議会に提案して承認してもらう方向性ですか。

**市長**

はい、おっしゃる通りです。

**記者**

そうするとかなり時間がないと思うのですが、その委員会というのはいつ頃開かれる予定なんですか。

## 市長

日程感については、どこまで調整できるのかというところですが、やはりかつて指定管理者が否決されてということがありまして、その場合は暫定的に指定管理者に期間を延長してもらおうとか、そういうことをやってきました。委託にするとやり方も含めてこれは協議をしていかなければいけないと思っています。

## 記者

そうすると4月の、年度をまたいで今委託されている事業が暫定的にちょっと延長して委託を続けるということもあり得るということでしょうか。

## 市長

現実問題として日程感として間に合わなければそういったことも当然していかなければいけないと思います。

## ■中心市街地について

### 記者

キュートとモグが譲渡されましたが、民間企業はこれまで通り営業も続けていくと言っているのですが、将来的にどうなるかわからないという点がありまして、このことに対して市長はどう見えていますか

### 市長

今お話しありましたように、現行通り商業施設として、名前も変えずに行っていくという事ですので、当然今まで以上に良い経営をしてもらいたいと思いますし、市のまちづくりビジョンや今後の戦略についても共有をしながら、御理解をいただいてやり得る事はやっていきたいと思えます。

### 記者

近々ではないと思うのですが、万が一マンションになるようだとか将来そういった可能性としてはなくもないので、事業者の心次第では。その辺については今後規制なども考えているとおっしゃっていましたが、その辺の検討状況についてお聞かせください。



## 市長

はい。これはもう必ず規制はかけていきますので、そのためには当然、事業者にも理解を得られなくてははいけませんので、地権者、該当地区だけの話ではありませんので、周辺まで含めた地権者との協議をして市としてまちづくりのこれから目指す方向性等を御理解いただけるように作業を始めているところです。

## 記者

もう既に周辺地権者との協議も始まっているという状況ですかね。

## 市長

部分的ではありますが、始めています。

## 記者

モグ関係では、最近、某ハンバーガーチェーン店が閉店するなど、今回の譲渡がどう影響を与えているのか分からないのですが、やや寂しくなりつつという点で今後の活性化に向けて意見をお聞かせ下さい。

## 市長

やはり、残念ながらクレオの再生計画に期待をしていた皆さんがちょっと撤退傾向にあるような話があるのは伺っております。一方で起きてしまった事は仕方がないので、前を向いて、やはりあのエリアで、一番必要なのはエリアマネージメントをどのようにしていくかということをしちんと体制も含めて考えていくということだと思っております。

クレオの中でのまちづくり会社という手法がありましたけれども、あれはやはり、単にクレオだけの話ではなくて、そこで上がった収益をエリアマネージメントに生かして行くということも含めて考えておりました。何らかの団体を作っていく必要は当然あると思っております。

これは先日の議会でも質問が出ていましたので、そのようなことも含めてエリアのマネージメントを点ではなく面として捉えていくための具体的な動き出しを考えているところです。

## 記者

今の団体の話なんですけれども、センター地区活性化協議会があると思うのですが、それとはまた別に何か団体なり集団なり組織なりを考えていらっしゃるということでしょうか。

**市長**

はい、センター地区活性化協議会でその役割が果たせるならもちろんそれでもいいのですけれども、現状としてそこも含めて検討していきたいと思います。

**■議会での否決について**

**記者**

つくばウェルネスパークの件も去年のクレオの再生の件もそうなんですが、市が、これがベストだということで議会に提案しているんですね。それがことごとく立て続けに否決されるという議会との関係、政治用語で言うと議会对策とか議会工作という、うまくいってないんじゃないかと感じるのです。メディアにとってはトラブルがあった方が、ニュースが出てハッピーなんですけれども、時間もかなりかかって、市民にとっては不経済なことかなと思うのです。議会との関係で、事実上ウェルネスパークの件が否決されて、それからクレオの件は考えていたものを最終的に出すのを見送るという事で、この辺しっくりしないですけれども市長としてはいかががお考えですか。

**市長**

本来の議会はそういうものだと思いますので、当然、是々非々で議論をしていま

す。なんでもかんでも賛成ですと言うのであれば、それは日本の地方議会が批判されるように機能していないという事ですので、逆に二元代表制が機能しているという評価ができるのだと思います。

議会对策との言葉がどうか分かりませんが、今議会の皆さんとはかなり密にコミュニケーションを取っていますし、予算も 2 年連続で当初予算を全会一致で可決いただいているという事例は、おそらくほとんどないのではないかと思います。決して議会とぎくしゃくしているとかそういうことではなくて、政策面で健全な議論をしている結果がたまたま 2 つの案件で議会としては通らないということがありました。他のほとんどの部分においては、例えば水道料金の値上げを全会一致で可決するとか、おそらく難しい案件をきちっと議論できていると言う議会と行政の関係は、あまり他で聞いたことがありません。逆にそういうものがあれば教えていただきたいなという風に思います。今議会も新しい体制になりまして、より密にコミュニケーションを取れるような関係になっていると思っております。

**(終了)**